

5
運
1961

特

門 二 16
號 2282
卷 1

洋家人物輯序

大正四年
內田銀藏
贈

夫天下固有無用物也而時乎可
以適用矣故君子不以其無用而
廢之必待其有可用之時嘗觀
彼大瓠乎堅而不可壞半獲落而無
所容如無用者然中流失船則一壺
子金其為用不亦重乎余醫人也

天下之事非所與知整就鑿論之本
經所載藥物數百審辨其性味
明究其能毒而其一所常用則不過
桂麻苓黃數十種雖然牛溲馬勃
敗鼓之皮亦不得不蓄以待其用也夫
牛溲馬勃之用不如桂麻苓黃而有時乎
重於桂麻苓黃故良醫不廢之也南溪
永田君將擇洋外人物圖譜而傳之夫審
民俗辨風習者為治國之要務概
洋外人物何關我事故此書幾以無
用者焉然近日洋船之出沒於邊海
者數矣豫審其民俗一極其風習以
為應遽之備則至為適用豈惟如牛
溲馬勃敗鼓之皮之於疾已矣哉是

必君子之所不廢也於是乎序

嘉永七年龍集甲寅秋八月

素行學人黑田惟孝撰并書



於此礼えよむ心ゆへを慕ふ此癖何れ莫名の聽ゆ
 何れ控へかぬ心重き故におく私之理まの孝極旅歴を
 好む其例古の存區紙搜り古を傳へを尋ね或ひを
 翠嶺清泉を穿つて物ゆよりく移への縮圖のさるよ
 素利のゆへまのゆへの中は海那の人物かろ一冊
 を傳へ傳へぬをありきろふふあひ書房より享保中
 洲梅軒の校刻あせる万国人物圖説を得て此れを閱するふ
 為のあらふ………我書の何れなり我書かろか

體裁のやまをうけてるゆれに其の住居のなまむのほろ
 ちと業なむひまの國中歐羅巴西洋諸國の女ごもも裸りあて
 賤しあををさるるが 神國のいそまのふかゝるまをたのむを
 おもひ知るべく上梓を企て所藏とあせむか永寅のやう
 毎月のこゝろ

鳥のつらさをたのむるの國を

翅のまろくを見まはるるの集

永田南溪識



渾地四大洲

亞細亞洲

其所屬海嶋

莫臥爾 暹羅

亞爾默泥亞

亞非利加洲

歐羅巴洲

齊爾瑪尼亞拂郎察

南亞墨利加洲

北亞墨利加洲

緬那 明清 韃靼

朝鮮

兀良哈 東京

羅烏

琉球

答加沙谷

呂宋

亞媽港

刺答蘭

海嶋

馬加撒爾 叭哇

蘇門答刺 般尔朵

百兒齊亞

工答里亞 小人 撒兒木

國嶋都二十二

加拂里

爲匿亞

比里太尼亞 亞費利加

都四

度兒格

莫斯科末亞 大泥亞

翁加里亞 波羅泥亞 意大利亞

阿蘭陀

海嶋

諳厄利亞

都十

阿勒意

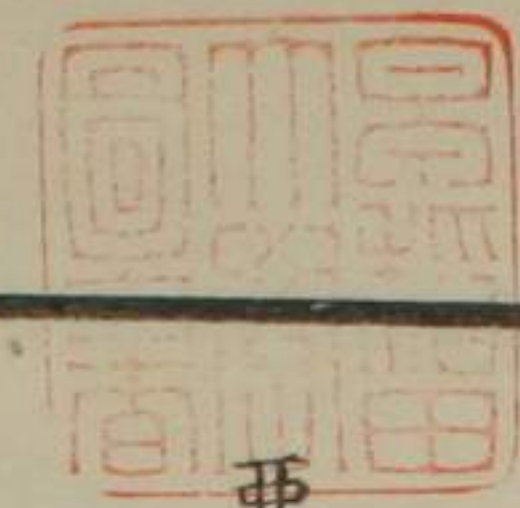
尾的里革 伯西爾

長人 巴大温

都四

加拿達

總計四十一





大明



大明を唐土なりせし國號を改むるが故より定れる號あり國人自ら
 稱して中華ありて中國と稱して大明の大祖の姓の朱諱を元璋字は
 國瑞濠列鐘離乃人あり元より代りて天下を有て帝位ふ即ち日
 天小祈りて大明を得たり故より以て國號とて地を以て西京
 十三省五十四道とて凡十七世二百七十七年ありて季自成が亂を因て
 國亡び遂に大清の世とあり西方の諸國ありては國を稱して
 支那ありて「チイナ」といふ

大清



八勿解卷之七



大清を即ち今の唐土の號あり大清の太祖姓ハ愛新覺羅名を
 奴爾哈齊とよみ世よ長白山の東小居て國を滿列と號を其太祖
 二十五歳ありて始て甲士十三人を以て兵を起して諸國を攻平け
 明の萬曆四十四年よ帝位よ即ち年號を天命と改む世祖の世よ
 明代亂よ乘じて遼東代りて支那の地を有てり支那の衣冠ハ本國
 の風よ隨て改むるといふも文物製度ハ多く明朝の舊よよ以て
 今の滿列蒙古哈密等の諸國皆其屬列とある故よ地の廣大あると
 古の支那よ倍とあり



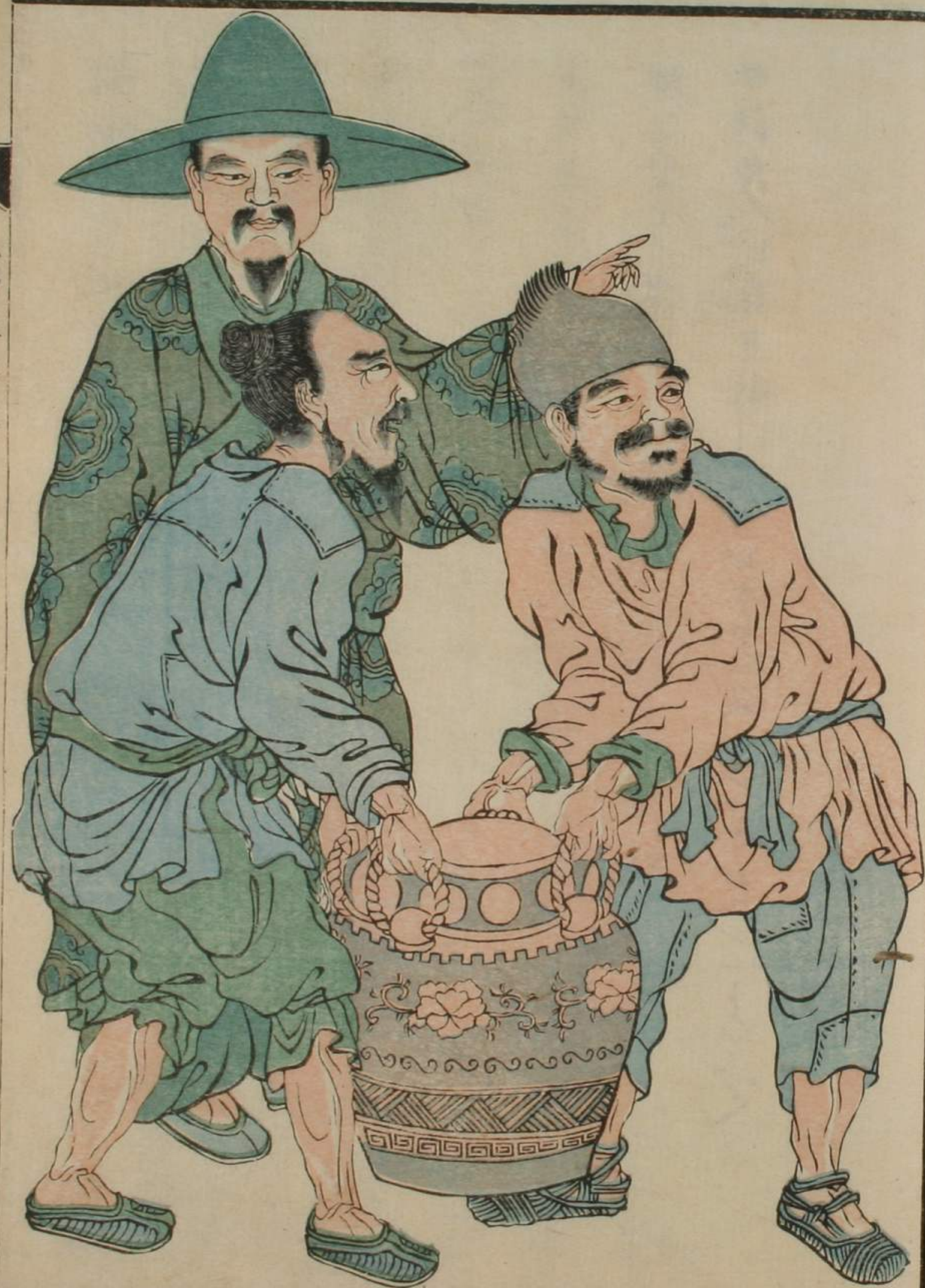
人物車巻

七

韃靼を西洋人の呼て「タルタリア」といふ其地より多て大なり
 殆ど亜細亞列の半紙半分をその人種類一をば大ていふ其性質
 粗暴なりて勇をこの多て水草を過て遷移して定居する者
 まれあり今此大地分けて三部とて東より老の支那より屬して
 韃靼といひ南にけりもの加爾謨幾杜尔格斯當撒馬思罕等の諸
 國分けおさめて自立韃靼といひ北より多る魯西亜より屬して
 ロシアだりといふけり地の最大なりて遠く東方の大洋より
 といふあり

朝鮮





八勿單卷之二



八勿單卷之二

九

朝鮮の古く周の武王箕子を封じし地前漢の中葉より新羅
 高麗百濟の三國ありまゝこれを馬韓弁韓と号す唐のときあは至て
 新羅勢盛んりて高麗百濟を併て之韓を一統を其後五人の
 時よ海軍統師王建ありて新羅を代りて高麗王と稱し松岳
 の地小都を子孫相傳ふると四百余年ありて徳衰く政亂りて
 其臣季且と名を奪ひ自立して國を朝鮮の古端より復て其
 地を分て八道とて府列郡縣をちて文物制度を支那の風より
 西洋の人は國を稱して「コレチア」又「シヤオシユン」といふ

兀良哈





玩球

元良哈の東韃而韜の一部を以て以めくろの山戎の地あり明の洪武
 年中ふ其地支那又肉附を則太寧朶顏福餘の三衛を以て
 東北の外藩とく其酋長又官を授けてこれを治めしむけ國
 風俗を以て蒙古等におあぐらふ

人物集卷之三

三

人物集卷之三

三



琉球の其地南海の中あり上右の世は^{大孫氏}あり若くしてその
 國ふまより今^属ふ^不之^省二十六島あり王城を^首里といふこの地
 氣候とて温暖^{えん}み^んとて冬霜雪なく西洋人の此國を呼びて
 「リウキウ」^まとい^レクエオ」といふま程



小の海法堂

〇

東京



人物軒卷之上

〇

東京の乃ち安南國アナムなりて古漢の時の交趾九真日南三郡の地あり
 宋の時より丁璉テイリエンあり其地より王とありより始て支那と列國と
 なるこれよりして黎氏李氏陳氏等あり俗草あり明の嘉靖年
 中より其國亂れくその後遂に東京と廣南との二國を分り東京ハ鄭氏
廣南ハ阮氏
 ありと西洋の人の東を「下シ年」とし廣南の「コシシ」はとふ地とゆふ
 氣候温暖クワンダンゆて金銀因桂胡椒沙糖象牙等あり土人の其色多々
 黧赤レイシヤ又これ孔夫子の教を崇信と

答加沙谷



人物考卷之上

二七

此國西洋の人呼て爾モラサといふ又タイチアックといふ乃ち支那
 南海中の一嶋ゆて支那の人の臺えんといふ明の時よ海賊の徒を
 つかふ其後和蘭の人東海に通商をうよ及て此地を有て城を
 築てて「セエランド」と號せり然るふ清の順治十八年よ鄭經が
 時よ又改て東寧と號て其後鄭克塽清よ降るふ乃ち
 清朝より臺灣府及び鳳山諸羅の二縣をおき福建の内ふ
 属て其土人の皆裸躰めて風俗野鄙恒ふ鳥獸を獵て食よ
 充つ氣候温暖あつ故よ物産の甚豊饒なり

呂宋



呂宋ハ支那の廣東の南海中ニ在リ一名「ラコニア」とシ其近傍ハ海嶼甚多ク
 此を総シテ「ヒリピンセ、エイラントシ」とシ其中ニおおく呂宋最大ナリ本朝の
 元龜三年ニ當リテ以西把尼亞國ニ併セラルレ彼國ヨリ守を盡テ此を治メ
 并ニ其近傍諸島のトモをもとメテ都ク海ノ其所居の府城を「マニラ」
 とシ此國氣候熱ク人物産豊饒クテ諸穀法菓黄金真珠胡椒
 砂糖蜂蜜治丈藍諸畜獸多ク

刺答蘭
ラタテン



此地本「ラトロニセ」又「ラルロニ」又「テラパ」又「マリア」又「ヂイヘン」又「イラ」
 とシ漢人此を盜嶋とシ其諸島をテ日本ノ正南海中ニテ「リ」氣候暑熱
 中ニ人物甚賤陋アリ其嶋大小おおく亦皆以西把尼亞國ニ屬ス
 國の海船亨露國ハ國南亞墨利加の島よりテ呂宋の諸島ニ赴クもの必ズ
 此島小船を泊シて日ヲテ後發ス



人物志

刺答蘭

呱哇



此國本名「ジャワ」といふ和蘭の人の「ヤワ」といふ則シヤワの轉あり
 其地赤道の南に在て東北に波耳匿何ふ向ひ西北に蘇門答刺に
 距りて亦海中の一大嶋あり此地君長あまの阿り其中「タラシ」板
 の二王及和蘭より密く所の酋長最盛ありとて此和蘭所領の地を
 「ジャカタラ」と號し今ハ「バタビア」といふ此和蘭人東方諸國
 所領の諸列の中よおめて才一の大都すて多々の官吏及び部下乃
 精兵一万六千人大船五百艘ありん此德國土地極て豊饒ありて
 物産夥々殊に米穀諸菓胡椒沙糖香葉及金銅等多し

蘇門答刺



蘇門答刺古名大波巴那といふ亦南海中の大嶋なり其地赤道乃北
 五度半より起りて赤道の南六度ふ至る故に冷熱殊に甚しく氣候
 さくめて不順なりて春秋二分大陽正に其上を過ると陽光焼くが
 如く毎日夕べに至れば暴風猛雨雷電多し此地君長一たありて
 西北ふあるもの皆「アセム」の王に属し東北ふあるもの皆「哇」の
 「マタラ」及板波の二王に属し土人の言語大抵滿刺加國に同し其性
 高誇りて外國の人を輕くし天下の中ふ己をが國に勝るの地ありと
 おしる



羅シ
羅△



暹羅の西語「シヤム」又名「セラム」といふ此國北極の土地十度より起りて
 十八度に至る支那の西南諸蕃の中ふれて地最大なりて勢ひも甚
 盛なり國內分て十二道とて隣國の東埔塞、滿刺加等の諸王皆是ふ
 臣服と此地都て物産豊饒なりて金銀銅錫米麥蒜菓、椰子、
 蘇木、胡椒、蘆會、安息香等の産多し其王都も「シヤム」といひ
 一名「オテア」といふ人居極て繁華あり此國政教文物屋室寺觀等の
 制多し西刺敦國のごとく土人の皆佛法を崇信と

羅烏



此國支那よりあれを老撾といふ西洋のくろ「ラオ」又「ラオス」と云
 其地安南の西北にありこれ漢の時より哀牢國の地あり明朝の
 永樂二年に其酋長支那に朝貢をこしこれより始り雲南省に
 部を入て其酋長宣慰司の官を受け毎歳方物を貢此國は
 深林多く象及び一角獣を産と其國都を「ランカンク」といふ
 人民繁華あり

莫卧尔



人物異考



莫卧尔國本名「モゴリスタン」又「モゴルスレイキ」といふ莫卧尔の乃ちその
 國王の尊號ありて上あまに至尊といふる者あり此國の古く乃天竺
 印度の地なりモゴルの始祖「タメルラ」の韃靼部中の撒馬兒罕國に
 誕生したる人ありて英武絶倫あり兵を興して以来向ふ所皆必ぞ

勝て遂に西洋歴數才一千四百余年の比天竺諸國を破滅し
 其總王となり而領三十八大部ありて其地極て大なり國都を「アガ
 ラ」といふ印度諸國才一の大都ありて其城なる赤石を以てこれを
 築く國人其色三種あり黄色と黒色との人々多く仏教を以て
 信し白色の人の皆回教を崇信するなり

百見齊亞





百見齊亜の西語「ベルシイ」又「ベルセ」云々其地莫卧尔國の西ふあり或ひは
 曰くこれ古人の波斯國ありと云ふ抑此國の上存ありて天下ゆうめい有名の上國ふ
 して今に至る土地廣大めて物産ぶつさん殷富めて兵馬へいば強盛あり國中分て十五道

とて其國都を「イスハン」云々美廉繁華の大城あり其國人北方又
 ある者の色白く南方ふける者の黄黒あり衣服の制せい甚花麗多を
 婦人の門く穿る時の中をもめて其面を覆おほやくり我邦をて「ハル
 シヤ」と誤あやまり稱なづぐるものあり

アルメニア
 亜尔默尼亞



亞
媽
港



亞爾默尼亞ハ其地百兒齊亞の西ハあり亦上古より著名の大國
ありて土地豊饒あり國內分て大小二部とて今此國多クハ度ル
格ニ屬し其東境の地ハ亦皆百兒齊亞ニ屬セリ



4 月 0 日



亞媽港一名「マカオ」又「マコウ」とりて支那の人の香山澳とりて支那の廣東
香山縣の海岸の一嶋あり始めて曠漠無人の地ありしを波爾杜尾
國の人此より來りて居城を築きて高賈湊會して繁華あり地と
事なり



八州新編

一



亞媽港一名「マカオ」又「マコウ」とりて支那の人の香山澳とりて支那の廣東
香山縣の海岸の一嶋あり始めて曠漠無人の地ありしを波爾杜尾
國の人此より來りて居城を築きて高賈湊會して繁華ある地と
考せり

